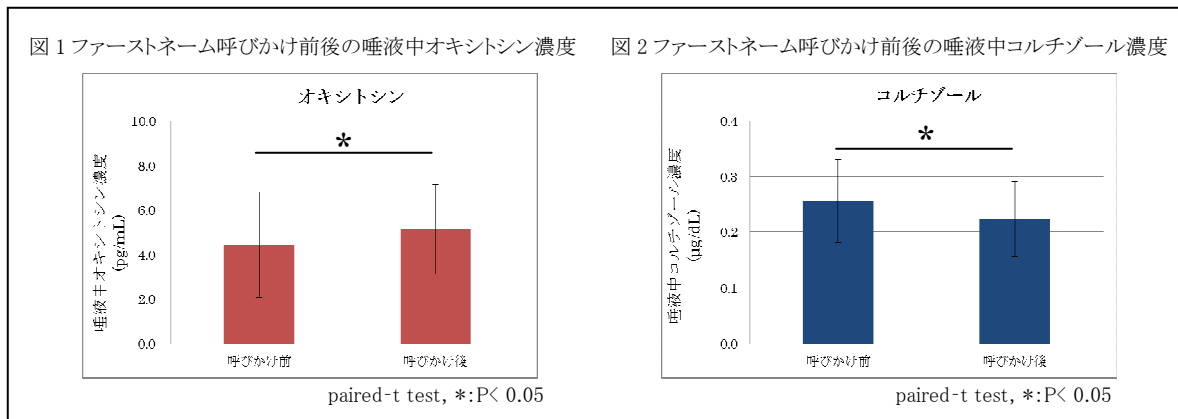


名前での呼びかけが、女性の愛情ホルモンを増やす

ファーストネームでの呼びかけがオキシトシンホルモンに影響を及ぼす事を発見

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長:岩崎泰夫)は、普段、ファーストネーム(名前)で呼ばれていない女性に対して、初対面の人間がファーストネームで呼びかけたところ、愛情ホルモンと呼ばれるオキシトシンが増加することを見出しました。また、ストレスホルモンと呼ばれるコルチゾールが減少することも見出しました。

これらの研究結果により、ファーストネームの呼びかけといった日常の何気ない行為がホルモンの状態を良好な方向へ導く手段の一つである可能性が示唆されました。



ファーストネーム呼びかけによるオキシトシンへの影響

オキシトシンは、出産や母乳の分泌を促進する働きをするホルモンです。近年では、親しい仲でのボディタッチで増加することが確認されており、信頼や愛情、幸福感との関係も注目されています。

今回の研究により、初対面の人間によるファーストネームの呼びかけでも、唾液中オキシトシン濃度が増加する事がわかりました。(図1)

ファーストネーム呼びかけによるコルチゾールへの影響

コルチゾールは、さまざまな代謝に影響を及ぼす生体にとって必須のホルモンであり、過度なストレスを受けると分泌量が増加するため、別名ストレスホルモンとも呼ばれています。今回の研究により、初対面の人間によるファーストネームの呼びかけで、唾液中コルチゾール濃度が減少する事もわかりました。(図2)

これらの研究成果は、2014年12月17日から山口県下関市で開催される「ヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)シンポジウム2014」にて発表する予定です。

また、本成果はポーラ・オルビスグループから今秋発売される新製品のブランドコミュニケーションに活用される予定です。

【本件に関するお問い合わせ先】 (株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
Tel 03-3563-5540 / Fax 03-3563-5543

【参考資料】

実験方法

被験者：・30代女性 19名(平均 37.2±2.3歳)
・普段、ファーストネーム又はファーストネーム由来の呼称で呼ばれていないと申告した者
・3歳以上12歳未満の子が一人以上いると申告した者
・ここ1～2年くらいを平均的に考え、女性としての自分磨き(スキンケア・メイク・エステ・ファッションなど)を、積極的に行っていないと申告した者

測定項目：・唾液分析
・アンケート

【初対面の人間による15分間のファーストネーム呼びかけ】

試験手順：呼びかけ前… 水による口内洗浄、計算による負荷(5分)、アンケート、写真撮影、
唾液採取
呼びかけ後… ファーストネームを呼びかけながら写真撮影(15分)、アンケート、
唾液採取

オキシトシンについて

脳の下垂体後葉から分泌されるホルモンの一つで、分娩時の子宮収縮、母乳分泌を促すなどの働きがあります。女性特有のホルモンではなく、男性にも存在するホルモンです。オキシトシンは出産や授乳行為だけでなく、親しい者との抱擁や性行為でも増加する事がわかっています。また、愛情や信頼と関係があると言われていたため、別名「愛情ホルモン」「幸福ホルモン」「絆ホルモン」とも呼ばれています。

コルチゾールについて

副腎皮質から分泌されるホルモンで、糖や蛋白質および脂質の代謝を制御するなどの働きがあります。身体的または心理的ストレスを受けると分泌量が増加することがわかっているため、別名「ストレスホルモン」とも呼ばれています。

試験結果についての考察

普段、「ママ」「△△ちゃんのお母さん」「〇〇課長」などの呼称で呼ばれている女性に対し、本来の名前で呼びかける事は、役割に関する呼称から生まれるストレスや緊張感を解き放ちます。また、呼びかけた初対面の者に対しては、自分を一人の個人として認めてくれる、好意的な人間であるという認識から敵意性が減少し、それがオキシトシンの増加やコルチゾールの減少に繋がったと考えます。